

TICAD9

アフリカにおける

AMEDの取り組み

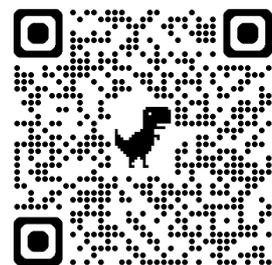
(AMED Initiatives in Africa)

日本医療研究開発機構（AMED）は、第9回アフリカ開発会議（TICAD9）においてサイドイベントを開催します。AMEDは、2015年の設立以降、医療分野における基礎から実用化まで切れ目ない研究開発支援を実施してきました。アフリカを舞台とした研究開発もその対象であり、一国や一地域だけで解決することが困難な地球規模保健課題の解決に取り組んでいます。本イベントでは、これまでにAMEDが支援したアフリカ諸国と日本の国際共同研究の中から、いくつかの取り組みについて紹介します。また、パネルディスカッションにおいては「切れ目のない連続的な支援および連携強化」と題した意見交換を行います。本イベントが、健康・医療分野における研究開発の一層の連携強化および発展につながることを期待しています。

8/21 木 | 12:00 - 13:30
パシフィコ横浜 ホールD

言語：日本語（日本語→英語の同時通訳あり）
開催形式：対面 ※オンライン配信なし
問合せ先：amed_ticad9@amed.go.jp

▶お申込みはこちら



国立研究開発法人
日本医療研究開発機構



<https://tayori.com/f/amed-ticad9>

プログラム

10分

開会挨拶

中釜 齊
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
理事長

文部科学省

10分

AMEDアフリカ研究支援事業紹介

久永 幸博
国立研究開発法人日本医療研究開発機構国際戦略推進部 部長

発表 AMEDにおけるアフリカ研究課題の成果紹介

10分

開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業「アフリカの地方部・農村部における、予防可能・治療可能な眼底疾患の根絶を実現する眼科医療機器の開発」

清水 映輔
株式会社OUI(OUI Inc.) 代表取締役

10分

新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点研究領域）「ネットワークコア拠点の設置にかかる研究開発及び支援機能」

武井 貞治
国立健康危機管理研究機構 理事

10分

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「マラリアのない社会の持続を目指したコミュニティ主導型統合的戦略のための分野融合研究プロジェクト」

金子 明
大阪公立大学 大阪国際感染症研究センター/大学院医学研究科 特任教授

10分

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム「アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の疫学に関する研究」

高田 礼人
北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 教授

パネルディスカッション

25分

「切れ目のない連続的な支援および連携強化」

國井 修
公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金
CEO兼専務理事

小山 有沙
ゲイツ財団 日本総括

久永 幸博
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国際戦略推進部 部長

山田 智之
独立行政法人国際協力機構
ガバナンス・平和構築部STI・DX室 室長

5分

閉会挨拶

高山 研
厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室
室長